

あなたの町の福祉情報紙

第247号

■発行
社会福祉法人
九重町社会福祉協議会

〒879-4803
九重町大字後野上17-1
TEL : 0973-76-2500
FAX : 0973-76-3835

☒ : smile9@oct-net.ne.jp
HP : https://kokonoe-syakyo.jp



HPは3枚から

すまいる

今月のキラキラさん



野上 滝上
佐藤 義明 さん

地域に尽くす獣医師、野矢校区の未来のために

獣医師として活躍する傍ら、野矢校区活性化協議会の会長として地域づくりに尽力している佐藤義明さん。

獣医を志したきっかけは、子どもの頃、父が飼っていた子牛が病気になる、「自分の牛は自分で治したい」という思いが原点でした。年末に33件の往診をこなした苦労もありましたが、回復した動物の飼い主からの感謝が何よりのやりがいだと話します。

また、山村留学制度にも取り組み、大分県内第1号として1組の親子の受け入れに成功しました。その取り組みは小学校の存続にも貢献し、児童数は13人から23人に増加したそうです。

地域の絆を感じ、義務感ではなく楽しみながら活動が続いている佐藤さん。子どもたちが地域で良い思い出をつくり、将来また戻ってきたいと思うような場所を目指しています。

事業のお知らせ

『ファミリーサポート事業』

「ファミリーサポート事業」とは、一時的にお子さんを預かってほしいという保育ニーズにこたえるために設置された事業です。お子さんを預かる「まかせて会員」と、依頼する「おねがい会員」に登録して頂き、双方をつなぎます。

内容としては園や学校までの送迎・買い物・美容院・ランチなど、自分のリフレッシュタイムにもご利用頂けます。

【利用料】

- ① 平日7時～19時・・・1時間600円
- ② 土日祝日及び①の時間外・・・1時間700円

※送迎は別途ガソリン代が必要です。

☆詳しくは「ここのえファミリーサポートセンター」(ここのえ子育て交流センター内) 電話(731-2666)へお問い合わせください。



九重町社会福祉協議会の活動についてのお問い合わせ・ご意見・ご要望は

電話 76-2500 FAX 76-3835 まで、お気軽にお寄せください。

地域を支える防災コミュニティ

梅雨の時期となり、思い出すのが5年前の令和2年九州豪雨災害です。近年、水害だけでなく台風や地震など防災への取り組みは益々必要となってきました。このような状況において地域コミュニティの協力が今後重要な役割を果たします。

「地域コミュニティ」とは同じ地域に暮らす人々が、日々の生活や地域活動などを通じて人と人との絆を育み、助け合い、支え合いながら安心して生活していく地域共生社会です。普段会話の機会がない方も「あの家に足の悪い方が居る」「あの方は無線が聞こえていないかも」など、名前を知らなくても「お隣さん」

「近所のあの人」と認識できる、顔の見える関係づくりが互助の土台になります。災害の際にどこよりも迅速に対応できるのは同じ地域に暮らす人たちです。



避難訓練の様子

地域のコミュニティに防災意識や備えができる事で、人との繋がりや近隣との付き合いが増え、自身や家族の安全を守るための手段が整っていることに安心感を抱くことができます。

九重町では、行政区ごとに地図を囲み、危険箇所や避難方法だけでなく最近の家の様子や参加できてない方の心配など、様々な話しの中で「見守りマップ」の共有をしています。

「防災コミュニティ」は「地域コミュニティ」。改めて防災意識と向き合い、地域力の醸成にも繋がる支え合いマップ作りや避難訓練に取り組んでみませんか？



見守りマップ作り

マップづくり・サロンの立上げ等について行政区へ説明に伺います。お気軽にご連絡ください。

☎ 76-2500



ここサポ便り

地域とつながる

寄り合いカフェ

九重町で開催されている寄り合いカフェには、各地区地域食堂の前日と「くらしのサポートセンター」が主体となっており、カフェがあります。参加は自由で、どなたでも気軽に立ち寄ることができ、お茶のみをしながら交流をする場として開催されています。

特に、集会場がなくサロンも開催されていない集合住宅などでは、顔を合わせて交流する機会が少ないため、「出張寄り合いカフェ」を利用し、お互いの困りごとや近況報告をしながら同じ地区に住む人同士の情報交換ができています。



飯田地区では、高齢になり移動手段のない方の自宅の庭先でカフェを開催し、近隣の方との会話を楽しむことで、孤独感の解消や孤立防止にもつながっています。また、なかなか人と話す場がない、近くに住んでいても顔を合わせる機会が減ったという方にとっては、心が満たされ安心できる場にもなっています。

寄り合いカフェは、イベントではなく地域に住む高齢者にとって大切な交流の場となっており、このカフェをきっかけに、定期的に顔を合わせる「サロン」が立ち上がった地区や、災害に備え防災・見守りマップづくりをした地区もあります。



庭先カフェの様子

地域に広げようボランティアの輪！

ボランティアに関するお問い合わせはボランティアセンターまで
電話 76-2500 / FAX 76-3835

ささえあい

令和7年度
夏のボランティア体験月間

この事業は、福祉活動を体験することにより、自分たちが住む地域社会の福祉課題や福祉の現状を理解していただき、ボランティア活動への積極的な参加を促進し、ボランティア活動の振興を図ることを目的としています。

今年度、ご協力いただく町内のボランティア受け入れ施設は、次の18ヶ所です。

- 亀鶴苑
 - 介護保険総合福祉センター
 - ケアポート溪和
 - NPO法人ともだち村
 - 地域密着型通所介護八満
 - このえ介護事業センター
 - このえ子育て交流センター
 - このえ飯田こども園
 - このえみつばこども園
 - 放課後児童クラブ
 - (東飯田・野上・野矢 飯田・南山田 全5地区)
 - ふれあい地域食堂 (東飯田・野上 飯田・南山田 全4地区)
- 《参加対象者》ボランティア活動に興味・関心のある児童・生徒・学生・社会人

●九重町ボランティア活動人口 延べ178名

・ボランティア東	37名	・児童館協力者	11名
・はづきの会	27名	・風船バレー介助グループ	10名
・キスゲの会	25名	・ふきのとう	10名
・ボランティア南	26名	・災害ボランティア	8名
・かっこうの会	11名	・個人ボランティア	13名

《令和7年6月1日現在》



※各施設で、対象者や活動内容、受け入れ可能な日等が異なりますのでご注意ください。受け入れ情報を記載したパンフレットは6月下旬完成予定です。社協にてご確認ください。

《参加申し込み》7月1日(火)から受付開始

※施設との受け入れ調整を行うため、活動希望日の1週間前までに申し込みください。申し込み窓口は、社会福祉協議会です。直接、施設に申し込みをしないようにしてください。

《参加料》無料

※施設までの交通費と、ボランティア活動保険料の一部(200円)は個人負担となります。(保険の加入手続きは社会福祉協議会が行ないます。)



小さい頃から絵本に親しみを
持つてもらい、子育てにも活用
して頂きたいという想いから今
年度より「絵本の日」を始めま
した。当日は、
楽しいお話に可
愛い笑顔が沢山
咲きました。
原則として毎
月第4火曜日の
午前中に「絵本
の日」を行って
います。ぜひご
参加下さい。

■絵本の日

(ベビーニコニコ広場)

4月の活動

ここのえ子育て
交流センター(児童館・子育て支援事業・
ファミリーサポートセンター)

【開館日】 火～土 【休館日】 日、月、祝祭日
【開館時間】 8:30～17:00
〒879-4722 玖珠郡九重町大字引治508-1
tel: 0973-73-2666 / fax: 0973-73-2670



■苺がり・公園(小学生)

4月26日(土)、玖珠町の日隈いちご園さんに苺がりにいきました。美味しい苺にみんな大満足でした。その後、お昼ご飯を玖珠町総合運動公園で食べ、みんなで遊びました。



一番美味しそうな苺を持って
はいチーズ！



へ交流センターで貸し出しています

- 本 3383冊
- DVD 100枚
- おもちゃ 202個

7月のカレンダー



1	火		17	木	
2	水	ベビーニコニコ広場【子】AM 手話奉仕員養成講座【福】 19:00～21:00	18	金	寄り合いカフェ 東飯田公民館 10:30～11:30
3	木	ものわすれ相談室 飯田公民館 10:00～11:30	19	土	東飯田地域食堂かたろうへ 東飯田公民館 10:00～12:30
4	金	ものわすれ相談室 南山田公民館 10:00～11:30 寄り合いカフェ 野上公民館 14:00～16:00	20	日	
5	土	のがみふれあい食堂 野上公民館 10:00～12:30	21	月	海の日
6	日		22	火	
7	月	子育て交流センター休館日	23	水	わくわく広場【子】AM
8	火		24	木	
9	水	わくわく広場【子】AM オレンジカフェ南山田公民館 14:00～15:30 手話奉仕員養成講座【福】 19:00～21:00	25	金	積木【子】AM 寄り合いカフェ 南山田公民館 14:00～16:00
10	木		26	土	南山田ふれあい地域食堂 南山田公民館 10:00～12:30
11	金	寄り合いカフェ 飯田公民館 14:00～15:30	27	日	
12	土	川遊び【子】午後休館 飯田ふれあい夢食堂 飯田公民館 10:00～12:30	28	月	子育て交流センター休館日
13	日		29	火	
14	月	子育て交流センター休館日	30	水	わくわく広場【子】AM
15	火	ベビーニコニコ広場【子】AM オレンジカフェ 野上公民館 14:00～15:30	31	木	
16	水	わくわく広場【子】AM 無料法律相談【福】 13:30～16:30 (要予約) 手話奉仕員養成講座【福】 19:00～21:00	【福】福祉センター 【子】子育て交流センター ★行事や時間・場所は、都合で変更になることがあります。		

今月のちょっとひとこと

先日“マルハラ”という記事を目にしました。調べてみると“マルハラ”とは“マルハラスメント”といって、文末に句点“。”をつけると、「冷たい」「怖い」と威圧感や恐怖を与えるそうです。特にLINEやSNSのメッセージ、チャットなどで、「承知しました。」「はい。」「連絡ください。」など、中高年から送られてくるメッセージの文末に句点がついていることに対し、若者が「怖い」「怒っている?」「嫌われているかも」と距離感や冷たさを感じて気にする人が増えているのだとか。

「句点をつけるのがハラスメントなの!? 嘘でしょ?」と戸惑う世代です。句点を使わないようにしているのかもしれませんが、普通に読みにくいという欠点があると思います。母国語は大切にしたいものです。

(又左)

令和7年度

コスモスのつどいのお知らせ

コスモスのつどい... 

障がいのある方が気軽に参加できるレクリエーションとなっており、障がいのない方も一緒にやる事でお互いに交流を深める場となっています。

日時：令和7年7月18日（金）13:30～

場所：保健福祉センター

内容：ボッチャ

準備：飲み物・室内用シューズ

申し込み〆切
7月4日（金）

お問い合わせ・申し込み：九重町社会福祉協議会

☎76-2500 担当：吉武